

四国森林管理局長 殿

四国森林管理局国有林材  
供給調整検討委員会委員長

平成28年度第 2 回四国森林管理局国有林材供給調整検討委員会の  
検討結果等について

四国森林管理局国有林材供給調整検討委員会運営要領の 2 の規程に基づき、平成28年度第 2 回四国森林管理局国有林材供給調整検討委員会を平成28年 9 月28日に開催したので、その検討結果を報告する。

1 検討結果について

データから算出された指標では、通常の変動を大きく逸脱したような状況は見受けられなかった。

その上で、各委員からは、

- ・ 素材生産は、梅雨明けから 8 月までは順調に出材できたが、9 月の雨等の天候不順により出材に遅れを生じている。  
また、台風16号による大きな林地被害（作業道等含む）はなかったものの、県道や市町村道が被害を受けている箇所もあり、出材への影響が懸念される。
- ・ 例年、秋需に向けてこれから素材の出材が本格化することになるが、スギ・ヒノキの価格が低迷しているため、山元への還元が少なく、集荷に不安がある。
- ・ 素材について市場からの購入量が減少し、製材工場への直送が多くなっている。
- ・ 製材品の荷動きは、柱・土台等の構造材は順調に販売されている。その反面、間柱等の造作材の売れ行きが鈍くなっており、こうした状況に応じて、韓国へ造作材の輸出に取り組んでいる。（国内で販売する方が価格面では有利であるが、製材品の量がはけないために輸出を行っている。）
- ・ プレカット工場はフル操業の状態である。

等の報告があった。

従って、国有林としては、今後も市況動向等を注視しつつ木材の安定供給を行い、需給の安定、需要の拡大、地域の振興に向けて努めることとする。

なお、現時点では、国有林材の供給調整を行う必要はないと考える。

2 供給調整の実施方法

該当なし。

3 その他

特になし。